

励まし合って汗流す

美深高等養護学校2年生

高齢者世帯で除雪作業

護学校(大泉直哉校長)の2年生による町内の除雪作業が21―23の3日間行われ、生徒たちが高齢者世帯などを訪問して除雪作業に取り組んだ。

この除雪作業は地域貢献活動などを目的に、自分で除雪作業を行うことが難しい高齢者の住宅などを対象としている。毎年冬に同校1、2年生が行っており、今回は2年生が作業を行った。

農業科2年生の廣岡優さんは、同じ班の生徒や教員らと共に3日間で5件の住宅を回



高齢者世帯の除雪作業に汗を流す生徒

で「ファイト一発」や「頑張っていきましょう」などと声を掛け合い、励まし合いながら作業に取り組んだ。昨年よりも雪の量が多くなるとあって昨年以上に大変な作業となったものの「3日間仲間と声を掛け合って雪かきを行うのは楽しかった」と話していた。また作業を行った住宅の家主と会話することもあり、感謝や体調を心配する言葉も掛けてもらったという。

次回の1年生の除雪作業は2月19―21日に行われる予定。

(安積祥紀)